



T コマンド

この章では、T で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

table-map

テーブル マップを設定するには、**table-map** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

table-map *table-map-name*

no table-map *table-map-name*

構文の説明	<i>table-map-name</i>	テーブル マップ名。最長で英数字 40 文字です。
-------	-----------------------	---------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	テーブル マップ コンフィギュレーション モード
----------	--------------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
------------	------------------------------------

例	次に、テーブル マップを設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# table-map TableMap1 switch(config-tmap)</pre>
---	--

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

timers lsa-arrival

リンク ステート アドバタイズメント (LSA) の到達時間を設定するには、**timer lsa-arrival** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

timers lsa-arrival arrive-time

no timers lsa-arrival arrive-time

構文の説明	<i>arrive-time</i>	到達時間。有効な範囲は 10 ~ 600000 ミリ秒です。
デフォルト	1000	
コマンドモード	ルータ コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、LSA の到達時間を設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# feature ospf switch(config)# test1 bgp(config-router)# timers lsa-arrival 1200 bgp(config-router)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

timers throttle lsa

リンク ステート アドバタイズメント (LSA) 生成にレート制限を設定するには、**timers throttle lsa** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

timers throttle lsa start-interval hold-interval max-interval

no timers throttle lsa start-interval hold-interval max-interval

構文の説明

<i>start-interval</i>	開始間隔。有効な範囲は 0 ~ 5000 ミリ秒です。
<i>hold-interval</i>	保持間隔。有効な範囲は 50 ~ 30000 ミリ秒です。
<i>max-interval</i>	最大間隔。範囲は 50 ~ 30000 ミリ秒です。

デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- start-interval : デフォルトは 0 です。
- hold-interval : デフォルトは 5000 です。
- max-interval : デフォルトは 5000 です。

コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、LSA 生成のレート制限を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature ospf
switch(config)# test1
switch(config-router)# timers throttle lsa 1 500 600
switch(config-router)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

topology

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トポロジ データベースを設定するには、**topology** コマンドを使用します。

topology holddown sigerr sec

構文の説明	holddown	トポロジ データベース ホールドダウン タイマーを指定します。
	sigerr	シグナリング エラーのリンク ホールドダウン時間を指定します。
	sec	ホールドダウン時間 (秒)。指定できる範囲は 0 ~ 300 です。

デフォルト なし

コマンド モード TE コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例 次に、シグナリング エラーのリンク ホールドダウン時間を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# topology holddown sigerr 200
switch(config-te)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	mpls traffic-eng configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジン アリリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

traceroute mpls

発信元から宛先にマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) のデフォルト パスをテストするには、**traceroute mpls** コマンドを使用します。

```
traceroute mpls {ipv4 target address | multipath ipv4 target address | traffic-eng tunnel-te
interface number}
```

構文の説明

ipv4	ターゲット IPv4 アドレスを指定します。
<i>target address</i>	ターゲット アドレス。
multipath ipv4	ラベル スイッチドパス (LSP) マルチパス traceroute を指定します。
traffic-eng	ターゲット トラフィック エンジニアリング (TE) トンネル インターフェイスを指定します。
tunnel-te	TE インターフェイスを指定します。
<i>interface number</i>	TE インターフェイス番号。指定できる範囲は 0 ~ 65503 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、ターゲット TE トンネル インターフェイスを指定する例を示します。

```
switch# traceroute mpls traffic-eng tunnel-te 1

Tracing MPLS TE Label Switched Path on , timeout is 2 seconds

Codes: '!' - success, 'Q' - request not sent, '.' - timeout,
'L' - labeled output interface, 'B' - unlabeled output interface,
'D' - DS Map mismatch, 'F' - no FEC mapping, 'f' - FEC mismatch,
'M' - malformed request, 'm' - unsupported tlvs, 'N' - no label entry,
'P' - no rx intf label prot, 'p' - premature termination of LSP,
'R' - transit router, 'I' - unknown upstream index,
'X' - unknown return code, 'x' - return code 0

Type Ctrl-C to abort.
 0 0.0.0.0 MRU 0 [No Label]
Q 1 *
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>mpls ldp configuration</code>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

